

原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

阻止連ニュース NO. 1131

2012年3月7日
TEL FAX 046-856-8714
携帯 090-1995-7599

3月5日から「東京新聞」が連載中 “その時 何が起きるのか 首都直下地震” 三浦半島断層群地震では神奈川県東部は震度7に

6920 email t-hatsu@tokyo-np.co.jp

その時何が起きるのか 首都直下地震

都心部で震度7も

身動きできぬ揺れ

東京湾北部地震で想定される震度分布

プレート交錯 複雑な地下

日本と首都圏周辺のプレートの構造

5日から首都直下地震で想定される被害や私たちが取るべき行動などについて、テーマごとに5回のシリーズで紹介しします。

本日、東京大学の平田直教授が「首都圏直下型地震」は震度が最悪の場合7となると発表。

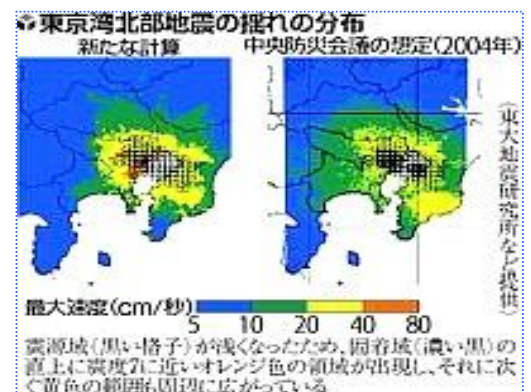
「東京新聞」は5日から5回にわたり、「その時 何が起きるのか首都直下地震」を連載。

連載のプロローグ、2日の同記事（左）は、既に首都直下地震では都心部では震度7、三浦半島断層群地震でも神奈川県東部が7なるとしていた。「東日本大震災」の時、原子力空母が配備されている横須賀は震度4から5だったと言われている。

「東京新聞」の同記事によると震度7は固定していない洋服ダンスが飛ぶように倒れ、身動きができぬ揺れ、床にはいつくばるしかない。

来たる4月8日、日本共産党の神奈川県委員会（後援会）と三浦半島地区委員会の主催で、「首都圏巨大地震、空母、放射能を考える」・シンポジウムが午後1時30分から横須賀芸術劇場で開催される。今まさに時の人、平田直教授や呉東正彦弁護士、井上哲士共産党国会议員がシンポジストとして出席する。

（本日、発表した揺れの分布図）



平田直教授が4月8日、横須賀にやってくる

首都圏巨大地震、空母・放射能を考える 4・8 シンポジウム in 横須賀

入場無料

日時：4月8日（日）午後1時30分開会
場所：横須賀芸術劇場

主催：日本共産党神奈川県委員会・同後援会
日本共産党神奈川県委員会
連絡・問合せ 042-8511122 Fax:046-8561238
http://22.tokyo-np.co.jp